

## 第4回 海南市総合計画審議会 議事要旨

日時：令和3年3月17日（水） 午後1時30分  
場所：海南市役所 3階 会議室3A

### 1. 議事

- (1) 第3次海南市総合計画（素案）について
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) その他

### 2. 会議結果

- (1) 第3次海南市総合計画（素案）について

#### (A委員)

52ページに記載のある海南nobinosが結構流行っている。現在の表記ではサラッとしすぎているのではないか。利用者アンケートなどを実施し、より多くの方に利用してもらいたいといった記述内容にしてはどうか。56ページの施策の方針中に、「障害や障害のある人」とあるが、並記する必要があるのか。58ページの施策の方針中に、結婚についての記載があるが、これについても具体的な内容の記述にした方がいいのではないか。

#### (事務局)

海南nobinosについては、利用者アンケートを実施していると聞いている。利用者のニーズに対応した取組等を実施する旨記載している。全体的なことだが、総合計画では大きな方針を記述しており、個別具体的な記述はしていない。具体的な内容等については、担当課で策定している計画等に記載されており、それに基づき取り組んでもらうことになる。「障害や障害のある人」については、障害の概念と個人のことを表している。結婚についても課題と施策の方針を記述しており、個別具体的なことまでは記述していない。

#### (B委員)

特定のところだけ具体的に記述するのは難しい。他の箇所とのバランスもある。意見は、施策に取り組む中で意識してもらえればと思う。

#### (C委員)

海南市全体の道路計画はあるのか。将来的にIRができた場合、海南東ICの交通量が一番増えるのではないかと思う。それも踏えて検討してもらいたい。

#### (事務局)

都市計画道路は都市整備課、市道は建設課が担当しており、市民の利便性等を考慮しながら整備方針を検討し、毎年事務事業のヒアリング等において

方向性を決めている。IRについては、県に2事業者からの提案があり、春頃には事業者を決定したいと聞いている。誘致については県が方針を示しているが、現時点では事業者が決定していない状況にあることから、今後県と協議していきたいと考えている。

(B委員)

IRが整備された時の交通渋滞の緩和等については、市として考えておく必要はあるが、計画に反映させることは難しいのではないかと。

(B委員)

計画策定後、運用時にはそれぞれの事業を単発で行うのではなく、相乗効果が現れるよう関連して実施してほしい。

(D委員)

有田市ではふるさと納税に力を入れており、ねんりんピックが行われていた時かなり伸びたらしい。イベント会場にみかんの苗木を持っていき、参加者にとって味見をしてもらい、ふるさと納税の返礼品としてアピールしたとのこと。他の事業と連携した取組が必要である。

(事務局)

ふるさと納税については年々返礼品事業者も増えており、鈴木屋敷の再生復元についても企業版ふるさと納税制度を活用し、市としても観光資源の1つとして交流人口の増加に向け取り組んでいるところである。また、駅前にホテルを誘致しており、今年の夏頃には着工、開業された際には地元のPRということで地場産品をレストランで提供してもらうようにしている。

(B委員)

事業の実施方法について、従来の方法を踏襲するのか、または、コロナ禍を経験し実施方法を大幅に見直すのか。今までは対面でなければ実施できなかった事業など、今後はオンラインやオンデマンドにより、市民の方が空き時間に自由に閲覧したり学習したりできれば、受講率も上がれば実施コストも下がる可能性がある。ポストコロナのことも見据えて事業実施方法の変更や見直しも頭に置いてもらえればと思う。

(事務局)

市で行っている事業については毎年事務事業評価を行っており、事業の検証や見直しを行っている。実施方法についても検討し、毎年改善しながら取り組んでいる状況である。

(D委員)

横文字や難しい語彙について、審議会として共有できているのかと思う。

(事務局)

次回の審議会で用語解説をお示しする。